降誕前節第6主日・(緑)

主日礼拝

2026年11月15日　10時20分～

司式:
奏楽:

≪神の招き≫

前　　奏	『キリストよ　汝は日なり、光なり』J.S.バッハ	
招　　詞	ローマの信徒への手紙14章11節	
賛 美 歌	４７２	

≪神の言葉≫

祈　　祷	聖霊の照らしを求める祈り	
聖　　書	出エジプト記3章1～15節	(旧約　88頁)
	ルカによる福音書20章27～40節	(新約147頁)
子ども説教		
交読詩編	77編12～21節	(90頁)
賛 美 歌	３６０	
説　　教	「 私はいる 」	八木浩史牧師
祈　　祷		
賛 美 歌	１８６	

≪感謝の応答≫

信仰告白	使徒信条	
祝 福 式	５４４	
奉　　献	献金	祈祷:献金当番
主の祈り	(週報表紙、ホームページ掲載)	

≪派　遣≫

頌　　栄	２５
祝　　福	
報　　告	
後　　奏	

礼拝当番:　　献金当番:
音響:　　映像:

■■■　調布教会は2026年度に創立80周年を迎えました！　■■■

「 私はいる 」

『出エジプト記』3 章は、モーセが神から使命を与えられる場面です。神の山ホレブで神はモーセに呼びかけられます。エジプトで苦しむイスラエルの民を救い出し、乳と蜜の流れる地へ導くために、ファラオのもとに行けと命じられるのです。モーセは神の召しに戸惑います。そこで神は「私はあなたと共にいる」とおっしゃり、モーセを説得なさいます。モーセが民にも説明しなければならなくなった時、神の御名をどう伝えれば良いかと問うと、神は御自分の御名をモーセに教えられます。「私はいる、という者である･･･『私はいる』という方が、私をあなたがたに遣わされたのだ」と答えるようと命じられるのでした。

『ルカによる福音書』20 章 27～40 節では、サドカイ派の者たちが主イエスに復活について問いかけます。彼らは復活を否定する立場でした。夫を亡くした女性が、律法に従ってその兄弟たち七人と順に結婚した場合、復活の時には誰の妻になるのかと尋ねます。復活の教えを矛盾に陥れようとしたのでした。主は、復活にあずかる世では、もはや死ぬことがなく、天使に等しい者となり、神の子として復活にあずかるのだと答えられます。さらにモーセが使命を与えられた時、神は「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」と自己紹介されたことを示し、神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神であると語られるのです。永遠に生きておられる神は、死んで行った者にも共におられて復活させ、彼らの神と呼ばれる方なのです。主なる神は、今も私たちと共にいてくださり、罪と死の奴隷とされた私たちを救い出すために、主イエスを、新しいモーセとして遣わしてくださったのです。